

ファーストペインギン通信

第29号
発行日
令和4年11月28日(月)
発行人
八王子実践中学校
中学部長 石川敦史



令和4年11月9日（水）午前9時、
1、2年生は横浜の桜木町駅前広場に集合しました。

今回、合学年の班を作り、各班ごとに研究テーマを決めて、この学習に臨みました。今までの校外学習であれば、教員からテーマが与えられていたのですが、今回は生徒の皆さんに考えてもらいました。より主体的な取り組みになったと思います。

各班のテーマ

- 「横浜の歴史について知る」
- 「税関はなぜ必要なのか」

- 「横浜中華街の歴史と食文化」
- 「帆船日本丸」
- 「昭和前期の横浜の文化や都市形成と人々の暮らし」
- 「カップヌードルとベビースターラーメンを比較しよう」
- それぞののテーマにしたがって、見学をスタートしました。

プレゼンテーション

11月10日（木）3、4限に行われたプレゼンテーションの報告です。

発表の概要をまとめたワークシートを各班が作成・配布して

くれたおかげで、発表の流れがわかり、理解しやすかったです。

横浜みなと博物館



船を操縦するゲームをしました。他の客船や壁にぶつかってしまいましたが、仲良くなったり、小学生と楽しく遊べました。

帆船日本丸



全国の商船学校の練習船として、1930年に製造され、1984年に引退するまで54年間で11,500名もの実習生を育ててきました。2017年に国の重要文化財になりました。

乗組員の健康と体力をになう調理室です。大きな鍋



が目を引きました。

税関資料展示室



資料展示室には全国の税関についてや、税関の歴史についての資料が沢山ありました。

展示ではニセモノと本物の違いがわかったり、動物がいっぱいいました。

全国の税関についての資料や税関の歴史を学ぶことができました。マスコットのイヌが可愛かったです。

神奈川県立歴史博物館



3階には土器や陶器の花瓶などがありました。打製石器、磨製石器も多数展示されており、模型の手に持たせていて、どのように使われていたのかがよくわかりました。

幕末、黒船でアメリカからやってきたペリー提督の大きな似顔絵から、当時外国人の人をどう見



ていたのか理解できました。

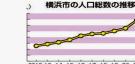
横浜都市発展記念館

戦前戦後の横浜の人々の暮らしについて学ぶことができました。1859年の開港から国際貿易都市として歩み始め、明治の終わり頃には工業地帯の形成が始まり、人口が急激に増えました。1939年には市域の拡張が行われ、現在の横浜市が誕生しました。

〈1859年〉開港により国際貿易都市としてのあゆみを始めた。



〈明治時代終期〉工業地帯の形成が始まわり、急激に人口が増大する。



善隣門、関帝廟

中華街にはこの善隣門があります。初期は牌樓門と呼ばれていましたが、1989年リニューアルされ、平和を願い隣国や隣人と仲良くするという意味の「親仁善隣」が掲げられ善隣門と呼ばれています。

